

(無題)

玉置世士

私は平成16年の8月に入って少しするとアパートの管理人が飼猫のことでアパートから出ていくことの通告を受けた。今日明日にと。前々から言われていたことでしたが飼猫が9匹も居たからなかなか移転先は無く苦肉の策として猫9匹の住み家を考えることにして。以前仕事上で車の免許を持っている住之江下り口の下でテント住いをしてるホームレスに話をした。テントの側に猫小屋を管理してもらおうこと。世話は私がする。只部外者がいたずらしないように日の千円で約束をした。初めは、私はホテルに止まり何とか行っていたのですが2週間目ぐらいになってこのホームレスが愚痴り出して来て收拾が付かなくなり。大和川のホームレスに相談し許可をもらい。大和川に移動することになった。大和川に仮設仮小屋を建てた。猫小屋は木材の組立て式でがっしりしていた。大和川に移動すると台風が来て私の小屋はバラバラ。猫小屋だけしっかりしていた。私の物はほとんど風で飛ばされた。この台風ときは、堤防の上に小屋があったから水の心配はなかった。木材を少しづつ色々な所から集めたり購入したりして堤防の傾斜ブロックの所に先住ホームレスの隣に新しい小屋を建てた。建てて少しするとチンチラに似た野良猫が私の小屋に来るようになる。その猫はその大和川でホームレスをしていて死んだ人の飼猫の一匹らしい。ホームレスにも段階がある。ルンペンに近く残飯を漁るのから一定の収入が有るが家が無いだけ。私の場合は猫を処分することが出来なく。1時期は一定の収入があった。ホームレスしてから1年ほどしてから一定の収入が止まった。それは相棒として軽トラックと免許を持っていた者が交通事故で死んだから。それから間もなく飼猫が拾って来ると生まれるのとか計47匹に増えた。あわててあり金はない避妊をした。それからがたいへんだった。私の食物と猫のエサの為に夜中に金になる物。非鉄金属又電気製品。ラジカセ。コンポ。プレイステーション。ギター。良い古着等を集めて売るのが毎日になった。売る所は物によっては買い取りに来てもらえるのやら。西成の朝市へ売り行くのがあった。今マスコミで違法物を西成の朝市で売っていると言われているのはすべて公権側が作った物語です。誰違法物があつかっていない。一生懸命に夜中に回って集めて来た物かもしれない。物です。ほんのわずかな稼ぎを公権力は無くさそうとしている。しいてはそのわずかな稼ぎすらうばい悪事を働かそうとしている。私は考えざる得ない。話は変わるがホームレス生活が快適なはずが無い。中学生らしき子供が小屋に火をつけようとするは石を投げて来るのは色々な事が起る。何人か小屋に火を付けられて焼き殺されたホームレスも居るが。公

の書類は失火としている ホームレスのことで一カケラすら捜査をする気がないから 私達ホームレスが悪ガキをこらしめても 100%ホームレスが悪者になる だからホームレスはやられ損につきる ホームレスをすることになったのは色々な事情がある 私も猫だけの理由では無い この年になってファーストキッスすらしていないし女性経験もない 性的不能でもない私は 好きな娘が居る もうすでに結婚している 私の21才の年に それから私は人生を情性のみで生きて来た 死ぬ覚悟で米軍に志願してベトナムに行ったこともあり 日本三大名園の兼六公園の冬場に自殺未遂をしたこともあり 人々が思う欲しい物衣類宝石等だったりする 独占したいと思わないが今も続いている片想いです 時間が有ればすぐにその娘のことを考えてしまう 悲しい 今一度会って見たい 私と同様に老いていられるでしょうけど会いたい この娘に嫌われたくなく色々と戒め守り通した だからホームレスとしてその日暮らし ジット考える時間が無い時期が私の1番穏やかな時だったと思う あることが無ければ私は大和川のホームレスとして飼猫を見送れば覚悟していた 尽きるまで 待つ大和川 恋疲れ、我独りと猫達共に その娘が幸福であれば私は幸福だ

選評

タイトルをつけるとしたら、「47匹の猫」でしょうか。すごく純粹で優しい人柄が見えてきます。いわゆる「普通の生活」が、どれほどいろいろな命を切り捨て、自分の思いをごまかし、裏切って、成り立っているのか、痛感させられる文章でした。玉置世士さんの生き方はある意味で過激であり、でもとても正直だと思えます。正直さを極めた果ての過激さは、もはや解脱の境地に近いのでしょうか。

(選者・星野)